

ポイ捨て、不法投棄に100万円も

この経費は本来使わなくてもいいもの…

美しい自然緑に囲まれた甲賀市、しかしその美しさを損ない、環境をも破壊してしまうポイ捨て、不法投棄は後を絶ちません。山林や道路や公園などに空き缶や弁当の残りが、ペットボトルが無残にも散乱している箇所が多くあります、さらには日用品、粗大ごみまでもが無秩序に捨てられています。



そのとき、そのとき、残ったもの……
ゴールデンウィークも終わりました。いかがお過ごしでしたか。
いい天気に恵まれ、行楽地に出かけリフレッシュされた方も多かったのではないかと思います。
ところが行楽地自体はかなりの疲れのようです。賑わいの後の行楽地はどこもなく寂しいものですが、そこに点在するいくつかがごみがその思いを一層強くさせます。

「ごみは自然になくなるものではありません。」
このごみは誰が片付けるのでしょうか、道路や公園などの公共施設に捨てられたごみはやむなく県や市が処分することになります。そこには当然費用がかかってきます。また不法投棄対策や啓発にも費用がかかります。市では不法投棄の対策、処理、美化推進にかかる経費として平成19年度予算では約1,100万円を計上しています。
この財源は私たちの貴重な税金なのです。そしてこの経費は一人ひとりがマナーやルールを守っていただければ使わなくて済むお金なのです。

甲賀市のごみ事情



青土ダムエコーバレイ



福井隆男さんに聞く

実際どのような問題がおこっているのでしょうか、「青土ダムエコーバレイ」を初めとする公園施設や緑地を管理されておられる福井隆男さんにお話を聞きました。

行楽地が多いごみは、やはり弁当の残りや空き缶などで一杯になるときもあります。また、紙おむつや、不要になった日用品などが捨てられているときもあります。ごみが捨てられている場所を見て感じるの、ごみのごみを呼ぶ

ぶという事です。ごみが捨てられているとわりとそこに「ごみを捨てる人が多いようです。そのためにも管理する側としては、ごみを捨てるという環境をつくらないよう心がけています。

施設の周辺にごみ箱を置いていないのも対策のひとつです。ごみ箱あればそこにごみは集まりますが、容量をオーバーしたり、しっかり分別できてないごみが出てきます。最終的には個人のモラルに頼らざるを得ないのが実情です。スーパールの袋でも何でも、出かける前にカバンに入れていただきたいです。ごみはすべて持って帰るという意識をもって、来られる皆さん全員が気持ちよく景観や施設を楽しんでいただきたいと思います。



ごみは捨てて帰るという意識をもって、来られる皆さん全員が気持ちよく景観や施設を楽しんでいただきたいと思います。

不法投棄はれっきとした犯罪



地域の方の清掃活動やボランティアなどで多量のごみが集まりますがこれだけで多くのごみをなくすことは不可能です。

不法投棄をする人は自分のことしか考えない身勝手な人です。ルールを守らない身勝手な人のために貴重な税金が使われる、許されるものではありません。

5月30日はごみゼロの日です。この機会に今一度散在性ごみの問題を考えたいものです。

ごみゼロ大作戦にご参加ください

依然としてなくなり散在性ごみですが、私たちの庭はやっぱりきれいでありたいものです。美しい町づくりをめざし、「ごみゼロの日」(5月30日)の前後に市民皆さんで「ごみを拾い、ポイ捨てについて考える」「ごみゼロ大作戦」を実施します。

活動内容

道路端のポイ捨てごみの回収などを行っていただきます。

当日は、作業のできる服装(手袋、火ばさみも携帯してください。)(ご参加ください。なお、参加者が万が一が等負われた場合は、市が加入するボランティア保険により対応させていただきます。

実施日時および集合場所

5月27日(日)

8:00~10:00

※午前7時に実施の有無を決定します。荒天等により不明瞭な場合は下記におたずねください。

水口地域：水口スポーツの森 河川敷地

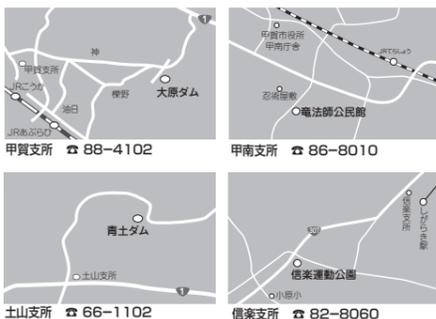
土山地域：青土ダム・リップルチャチャバス停

甲賀地域：大原ダムキャンプ場

駐車場

甲南地域：竜法師公民館
信楽地域：信楽運動公園

ごみゼロ大作戦 集合場所



問い合わせ 生活環境課

TEL 65-0690
FAX 63-4582